



操作マニュアル

アルファベルト プロ、
アルファベルト ベーシック、
アルファベルト ランヤード

SCBA との統合による、位置決めとレスキューのためのシステム



注文番号 10156928/02



The Safety Company

MSA Europe GmbH
Schlüsselstrasse 12
8645 Rapperswil-Jona
Switzerland

目次

1	安全規則	4
1.1	正しい使用方法	4
1.2	賠償責任情報	5
1.3	採用すべき安全対策および予防措置	6
2	内容	7
2.1	概要	8
2.2	呼吸器を接続するポイント	10
2.3	ラベルおよびマーク	10
3	使用方法	11
3.1	安全に関する注意事項	11
3.2	ベルトシステムの使用の準備	11
3.3	ベルトシステムの使用	13
4	保守および洗浄	22
4.1	定期チェック	22
4.2	清掃	23
4.3	殺菌	23
4.4	メンテナンス	23
5	輸送および保管	24
5.1	輸送	24
5.2	保管	24
6	認証	25
7	注文情報	26
8	付録	27

1 安全規則

1.1 正しい使用方法

alphaBELT Pro *alphaBELT Basic* および（以後、「ベルト」とも呼びます）位置制限または位置決めのための腰ベルトです。EN 358 および EN 137 に準拠して、呼吸器（以後、SCBA と呼びます）に組み込んだり、他の特に認定された装置を背部に配置したりするために使用できます。このベルトは、使用者を作業場所に固定したり（位置決め機能）、使用者が落下する恐れがある場所に届くことを防いだり（位置制限機能）することを意図しています。ベルトシステムは、高所からの落下を防ぐための個人保護装置（PPE）です。

alphaBELT Lanyard（以後、ランヤードと呼びます）自体は、EN 358 に準拠してランヤードとして使用できます。あるいは、EN 1498 クラス A および C に準拠して作業の位置決め用ランヤードとして、あるいはレスキュー・ループとして使用するか、EN 795 B に準拠してアンカー装置として使用することも可能です。

また、*alphaBELT Lanyard* との組み合わせで、*alphaBELT Pro* は、EN 1498 クラス B に準拠したレスキュー・シートとして機能し、意識があって座る位置を保つ必要がある使用者の身体を固定します。

ベルトおよびランヤードは、たとえば、消防士などの特に極端な作業条件向けに、MSA の酸素補給装置（シリーズ AirGo および AirMaXX）との組み合わせで開発されています。

危険

通常の使用、または緊急時に、体調により健康が影響を受ける場合は、このベルトシステムで、一切の作業を行わないでください。

危険

アルファベルトのコンポーネントが下降や落下によって引っ張られたり、他の影響（たとえば、高温、炎、化学物質、機械的影響など）によって損傷を受けたりした場合は、すぐに使用を止めてください。わずかでも疑いがある場合は、本製品の使用を止め、適切な知識を有する人がテストを行った後に書面で承認するまで、再度使用してはなりません。

警告

システムで使用しているすべてのコンポーネント（たとえば、酸素補給装置等）に関する取扱指示は、必ず守らなければなりません。

警告

本製品の機能や安全性を維持するには、清掃のガイドラインで指定されている以外の清掃を行ってはなりません。

清掃のガイドラインに従わなかった場合、ベルトシステムの安定性や難燃性に影響することがあります。

装置を使用する場合、この取り扱い説明書を必ずお読み頂き、順守して頂く必要があります。特に、安全に JP 関する指示のほか、装置の使用および操作に関する情報についても注意深く読み、順守してください。さらに、安全に使用するために、使用者の所在国に適用される国内規制を考慮に入れる必要があります。

**警告**

本製品は生命と健康をサポートしています。使用、保守、または修理が不適切だと、検知器の機能に影響を及ぼす可能性があり、それによって、ユーザーの生命を著しく危険にさらします。

製品を使用する前に、操作性を検証する必要があります。機能テストが不合格である、損傷を受けている、満足いく修理 / 保守が行われなかった、純正 MSA スペアパーツを使用しなかった場合、製品を使用することはできません。

代用または本仕様外の使用は不順守と見なされます。このことは、特に製品に対する無許可の変更、そして MSA または MSA が認可した者によって行われなかった試運転作業にも適用されます。

1.2 賠償責任情報

製品を不適切に使用、あるいは目的通りに使用されなかった場合、MSA は賠償責任を一切負いません。製品の選択および使用については、個々のオペレーターに全面的な責任があります。本マニュアルの指示に従って使用、修理、または保守しない場合、本製品に対する MSA が行う保証としての製品賠償請求、保証は無効です。



使用者の安全のため、本製品を当初の国以外へ再販売する場合、販売会社は必ず使用、メンテナンス、定期点検、修理に関する指示を、本製品が使用される国の言語に翻訳して提供する必要があります。

1.3 採用すべき安全対策および予防措置

使用中は、特に以下のポイントを守る必要があります：

- このベルトシステムは、安全に使用する方法を知っている人、適切な知識を持っている人、あるいはそのような人の監督の下でのみ使用できます。ベルトシステムは、使用する人専用にする必要があります。
- 他のコンポーネントと使用する場合の推奨事項は、以下のとおりです：下降に関わるすべての他のコンポーネント、他に取り付けられているシステム（たとえば SCBA）は、必ず認定されたものであり、個人保護装置の必要要件を満たしていなければなりません。
- 機器の一部、または機器全体の安全や信頼性にネガティブな影響を与える機器の組み合わせは、使用者を危険に曝します。
- 下降または位置決めベルトシステムを構成するコンポーネント（たとえば、ベルト落下クッション、高さ制限ベルトなど）に対して許容される最大負荷を、必ず守ってください。
- PPE システムで使用するコンポーネントは、たとえば、EN 137 および ATEX に準拠している SCBA を必要とする条件下で作業をしている場合など、活動（熱、化学製品などに関して）に適していなければなりません。
- 限定、位置決め、救出下降などの保護用の PPE システムは、直接炎に曝された状態や、100 ° C を超える高温の影響を長時間受ける状態で使用するようには設計されていません。
- 下降中に、システムによる呼吸用空気の供給が損なわれることがあります。
- 高温の部品との接触後、引張り強度に対する保護効果が弱められることがあるかもしれません。
- 着用者の救出でベルトシステムを使用する場合（EN 1498、レスキュー・ループに従って）、潜在的な危険（たとえば、障害物を意識していない人の邪魔となる）に注意し、適切に評価する必要があります。
- ベルトシステムを使用する前に、ベルトシステムを損傷させたり（例、高温の部品、化学物質、ガスなどとの接触等）、使用者の安全を損ねたりする可能性がある影響を調べ、適切な保護措置を講じる必要があります。
- 化学物質による汚染に曝された場合、使用の安全性（負荷を支えるストラップで使われている織物素材は炎難燃性ポリエステル）を確認しない限り、PPE を限定、位置決め、救出下降で再使用することはできません。耐性仕様のリストを考慮し、適切な資格がある人（たとえば、化学者）がテストを行う必要があります。
- メーカーが意図していない、ユーザーによる製品への一切の変更または適応は許可されません。適応を実施できるのはメーカーだけです。
- このマニュアルの「アクセサリ」部分のポジティブ・リストに掲載されている製品だけが、ポジティブ・テストされていて、認定されており、ベルトに付けることができます。
- レスキュー・シートを *alphaBELT Pro* と共に使用する際の人間工学的メリットのため、MSA ではタイプ MAX または EXX のショルダーハーネスを使用することを推奨しています。

2 内容

alphaBELT Pro/*alphaBELT Basic* および *alphaBELT Lanyard* のベルトは、高所からの落下の危険が存在する場所向けの個人保護装置の一部です。

alphaBELT Basic および *alphaBELT Pro* は、腰部で身体を包む身体サポートです。

alphaBELT Basic のコンポーネントに加えて、*alphaBELT Pro* には、以下のコンポーネントもあります（図 1 を参照）：

- ウェビンググループ、ラベル、熱センサーを装備したフロントポーチ
- エルゴクリック・バックル
- *alphaBELT Lanyard* は、既にパッケージに含まれています。

alphaBELT Lanyard は、ベルトの有無に関わらず使用できます。たとえば、ランヤードは、ベルトなしであればアンカーポイントとして、ベルトありならレスキュー・シートとして使用することができます。

ベルトとランヤードについて、下降の際、システムが正しく動作しないと負傷が発生するリスクがあることに注意してください。

使用者は、自身の筋肉の力で追加的な重量（例、呼吸器）に対処できる身体的、精神的コンディションでなければなりません。

2.1 概要

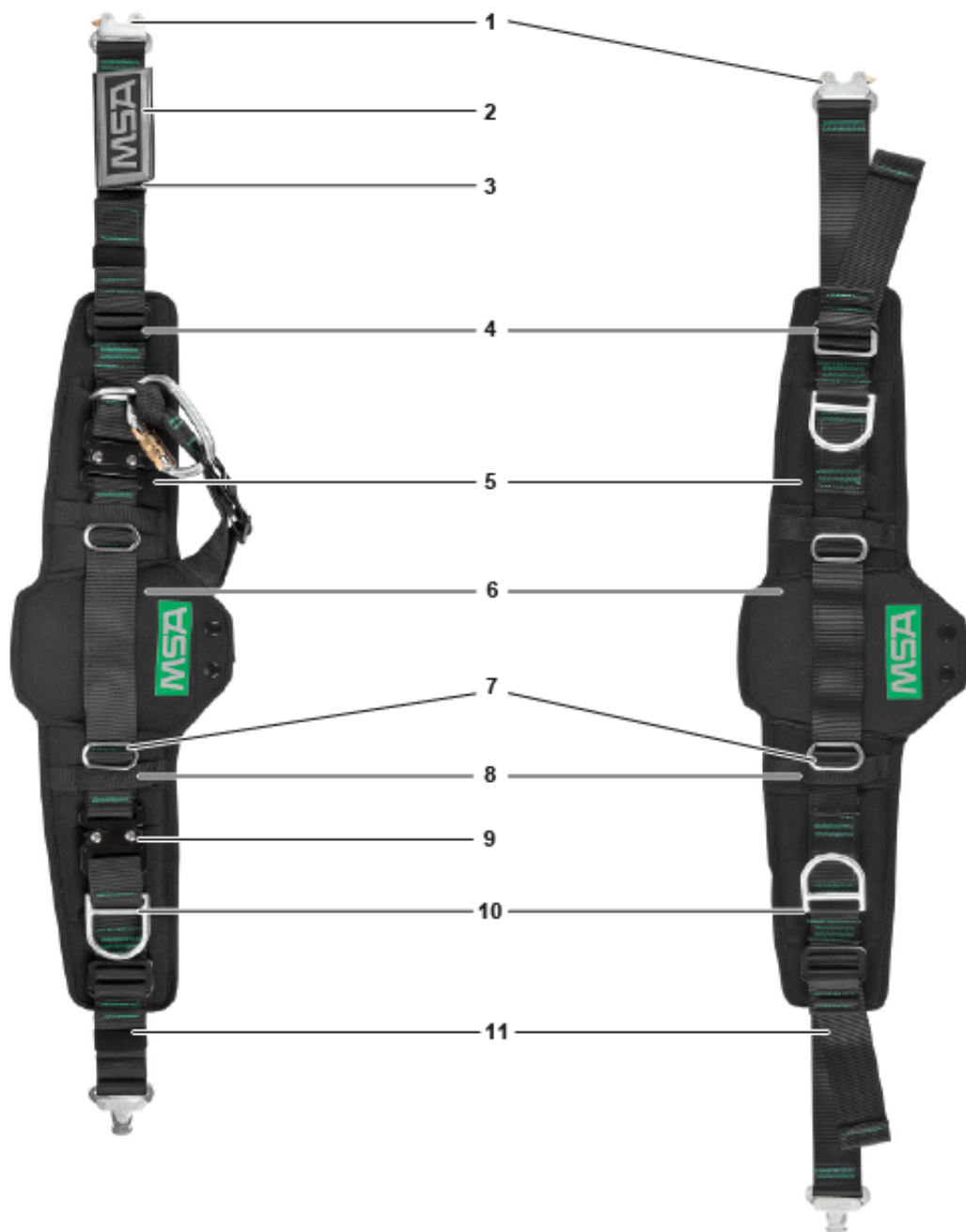


図 1 alphaBELT Pro および alphaBELT Basic

- | | | | |
|---|------------------------|----|---------------------------------------|
| 1 | セーフ・クリック・バックル | 7 | 接続バックル (SCBA バックプレートまたは機器ホルダー・ストラップ用) |
| 2 | フロントポーチ | 8 | 接続バックル用ホルダー |
| 3 | レスキュー・ループ・シート用ウェビングループ | 9 | エルゴクリック・バックル |
| 4 | 長さ調節バックル | 10 | D リング / 指示アイは、落下防止ポイントを制限します [EN 358] |
| 5 | 腰パッド | 11 | メインストラップ |
| 6 | ランヤード用バックポーチ | | |



図 2 alphaBELT Lanyard

- 1 D リングのカラビナ
- 2 長さ調節バックル
- 3 メインストラップ

- 4 レスキュー・ループ・シート用ミドルループ
[EN 1498 クラス B] (赤い縫い目)
- 5 マーク付きラベル
- 6 エンドループ

2.2 呼吸器を接続するポイント

呼吸器のバックプレートは、必ずその目的で提供されている 2 箇所のポイントで、ベルトシステムと接続し、ベルトに付属している接続バックルを使用して接続してください。

取り付けることができるのは、以下の自給式呼吸器だけです：

- AirMaXX
- AirGo

正しく使用するため、それぞれの呼吸器の操作マニュアルに従ってください。

バックプレートに、他の落下防止ハーネスが接続されていなければ、上記の呼吸器のいかなる構成でも可能です。

2.3 ラベルおよびマーク

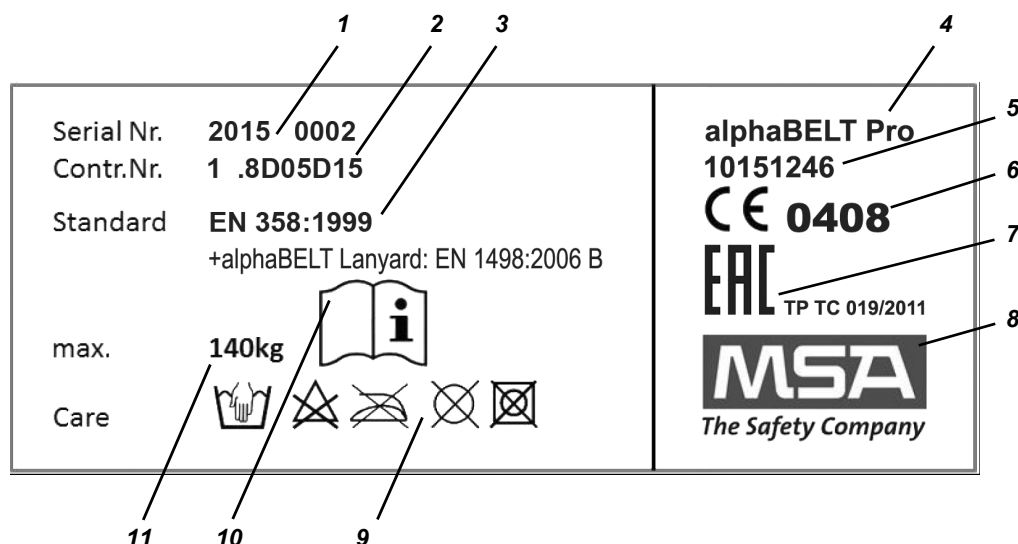


図 3 alphaBELT Pro のラベル

- | | | | |
|---|----------------|----|----------------------------|
| 1 | シリアル番号（製造年を含む） | 6 | CE 0408 ^{*)} |
| 2 | コントロール番号 | 7 | EAC 試験マーク ^{**)} |
| 3 | 対応規格 | 8 | 製造者 |
| 4 | 製品の名称 | 9 | 手入れに関する指示の記号 |
| 5 | 素材番号 | 10 | 「マニュアル順守」のアイコン |
| 6 | | 11 | 定格重量
（使用者および機器を含む SCBA） |

^{*)} CE は、指令 89/686 EEC または規制 (EU) 2016/425、それぞれ（個人保護装置）の基本要件への適合を認定。番号が、品質システムの監督当局を指定します (CE 0408 TÜV Austria Services GmbH, A-1015 Vienna)。

^{**)} 試験マーク：関税同盟の加盟国の市場での製品の統一マーク。

TP TC 019/2011 番号：技術規制の指定

3 使用方法

3.1 安全に関する注意事項

**危険**

通常の使用、または緊急時に、体調により健康が影響を受ける場合は、このベルトシステムで、一切の作業を行わないでください。



ベルトシステムを初めて使用する前に、使用者はサスペンション・テストを行って、ベルトシステムの調節機能が十分に動作すること、用途にそって快適に使用できることを確認する必要があります。

3.2 ベルトシステムの使用の準備

ベルトシステムを使用するには、全体システムを目視でチェックして、完全であり、使用に適した状態であり、適切に動作することを確認しなければなりません。

すべてのバックル、調節ストラップ、制限アイレットは、定期的にチェックする必要があります。機器を使用する前に、あらゆる緊急事態を考慮した、救出計画が手元になければなりません。使用前および使用中は、どのようにすれば、救出处置が安全かつ効果的に実行できるかを考えなければなりません。

ベルトとランヤードの接続



図4 ランヤード付きベルトの接続

- (1) ベルトの左側または右側にある1つのDリングの周囲のエンド・ループにある締めひもで、ランヤードとベルトをつなぎます。
- (2) 長さ調節バックルをDリングに近づけて、ランヤードが最長の位置になるように調整することをお勧めします。
- (3) また、ランヤードをベルトのバックポーチに入れて、2つのボタンでバックポーチに近づけることもお勧めします。



図5 ランヤードの保存

- (4) ランヤードが大きなループになるのを避けるため、ミドルループカラビナと反対側の D リングをつなぐことで、ランヤードが自由に垂れ下がる長さを短くしてください。
- (5) 長さ調節バックルで、垂れ下がるループのサイズを小さくします。



図 6 SCBA 接続バックルの保存

- (6) SCBA 接続バックルが自由に垂れ下がることがないように、SCBA 接続バックルをホルダーの下ベルトに近づけます。
 - ▷ この手順は、バックプレートを取り付けて、バックプレートになるべく身体に近づけることで装着時の快適性を向上させる場合にも利用します。
- (7) カラビナをこのウェビンググループにつないでいる場合でも、*alphaBELT Pro* のフロントポーチは閉じておいてください。

制限ハーネスでのバックプレートの固定

- (1) 必要であれば、ベルトを装着する前に、最初からハーネスにある腰ベルトをバックプレートから取り外してください。
- (2) 2 つの SCBA 接続バックルを使って、ベルトをバックプレートに固定します。
 - ▷ SCBA 接続バックルは、対応する固定スロットを通じて挿入し、調整します。



警告

特に *alphaBELT Pro* の場合、ショルダーハーネスのストラップは必ずベルトの外側を通し、決してストラップやパッドの間は通さないでください。こうすることで、速やかに落下したり、*alphaBELT Pro* の背中側にある 2 つのエルゴクリック・バックルを開いた時に簡単にバックプレートを取り外すことができます。

- (3) ハーネスおよびバックプレートの全体を調整して、使用者に合わせてください。

3.3 ベルトシステムの使用

**警告**

EN 358 準拠のベルトシステムおよび作業位置決めハーネスは、一切の落下防止目的では設計されていません。該当する場合は、適切な保護装置（落下防止システムなど）および追加の安全措置を利用する必要があります。

**警告**

ベルトシステムで 2 番目のカラビナ（例、EN 1498 クラス B 準拠のレスキュー・ループ）を使用する場合、そのカラビナは EN 137 準拠の呼吸器（例、スチール製）と一緒に使用できるものであり、EN 358 および EN 1498 に準拠しているアプリケーションに対する EN 362:2004 に準拠していなければなりません。

アルミ製のカラビナは使用しないでください。

**警告**

ランヤードのカラビナは、ミドルループで使用してはなりません。このループは、タイプ B のレスキュー・ループでのみ使用することを意図しています。

**警告**

高温に曝されたり、高温の物体や炎に触れた場合、ベルトの効果に影響することがあります。ベルトシステムに対する熱的負荷は、100 ° C を超えてはなりません。

短い時間、この温度レベル以上の高温になった場合、ストラップの素材に損傷を与える可能性があります。

特にベルトシステムのまさにこのポイントが、104 ° C を超える温度になった場合、フロントポーチで非可逆の温度 / 熱の影響が見られることがあります。こうした影響で、黒い四角（通常は、白）が表示された場合、制限、位置決め、救出下降などの負荷に耐える作業では使わないでください。この場合、本製品は、適切な知識を有する人がテストを行った後に書面で承認するまで再度使用してはなりません。

ランヤードの円周は、84cm ~ 130cm の広い範囲で調節可能であり、定格負荷は 140kg です。使用中は、安全のため、必ず以下の規則を守ってください：

- (1) 固定および / または調整用の部品は、必ず定期的にチェックしてください。
- (2) アンカーポイントの位置、動作の方法を選択し、落下が避けられる方法で、ラベリングを実行してください。
- (3) 負荷を支えるストラップは、たとえば鋭い端の上を通すなど、損傷を与える恐れがある接触があってはなりません。

ベルトの着用

- (1) セーフクリック・バックルで、ラップ・ベルトを締めます。
- (2) 両側の 2 つの長さ調整ストラップで、腰ベルトをしっかり引きます。
 - ▷ 最も人間工学的な位置では、SCBA の重量の大部分が腰で釣合いをとられ、ショルダーハーネスにはあまり重量はかかりません。



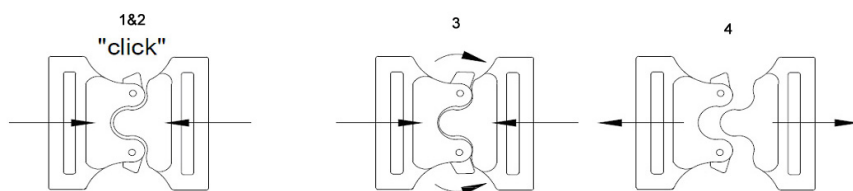
alphaBELT Pro t の場合、ウェビングループ付きフロントポケットを身体の中心軸上に位置決めする必要があります。したがって、セーフクリック・バックルは左側に位置決めする必要があります。

クリック・バックルの使用

セーフクリック・バックル (3 点セーフティ付きメインロック)

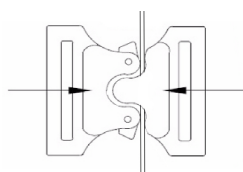
閉じる

開く



バックルを閉じるには

- (1) はっきり、「カチッ」と音がするまで、バックル部分を押しします。
- (2) バックルがロックされていて、適切に機能することを確認します。
 - ▷ バックルの半分が、互いの範囲内で自由に動かせ、両方が引きあっていれば大丈夫です。



バックルの半分の間の隙間が残ります。

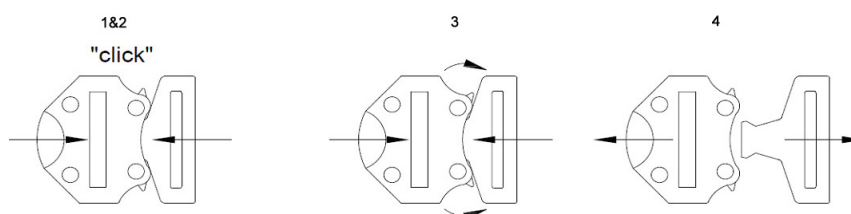
バックルを開けるには

- (1) MSA ロゴの方向へ 2 つのロック解除ボタンを同時に押しながら、バックルの部分を一緒に押しします。
- (2) バックルの半分を引き離します。

エルゴクリック・バックル (alphaBELT Pro のみ)

閉じる

開く



バックルを閉じるには

- (1) はっきり、「カチッ」と音がするまで、バックル部分を押しします。
- (2) バックルがロックされていて、適切に機能することを確認します。
 - ▷ バックルの半分の間を引っ張ります。
 - バックルの半分の間の隙間が残ります。

バックルを開けるには

- (1) 2 つのロック解除ボタンを、同時に開く方向へ押しします。
- (2) バックルの半分を引き離します。

追加工具のベルトへの取付



図 7 追加工具のベルトへの取付

- (1) D リングの周囲または脇のメインストラップに、小さいコネクタ・ストラップ・ループを取り付けます。
 - ▷ 小さいコネクタ・ストラップ・ループの両端およびループは、D リングの背後で垂れ下がっている必要があります。

**警告**

小さいコネクタ・ストラップ・ループは、必ず SCBA の使用についてテスト済みであるものでしか使用できません。つまり、1 kg を超えない重量で、ハーネスの人間工学的属性に影響を与えないものです。EN 137 の制限（例、アルミニウム製部品がない）に従うことを強く強調いたします。これは、SCBA の全体重量を、EN 137 に従って選択する必要があることも意味しています。

EN 358:1999 に従った制限および位置決め

EN 358

EN 358

EN 358

EN 795 B



図 8 ランヤードの使用

- (1) 「ベルトシステムの使用の準備」のポイントマニュアルでの説明に従って、ベルトを準備します。
- (2) ランヤードを、索をベルトのバックポーチから完全に引き出します。
- (3) カラビナを使って、ループを閉じて、ランヤードを支持ロープとして使います。
- (4) 選択した取付ポイントの周囲でランヤードを引っ張った後、ベルトの D リングの 1 つとカラビナを接続します。
- (5) 長さ調節バックルを使って、長さを調整し、安全な動作を確認します。
- (6) 落下の危険を回避できるように、正確に作業位置を選択してください。



警告

ランヤードは、EN 795 に従ったアンカーポイントが腰のレベル以上で維持される方法で配置しなければなりません。ランヤードは、必ずピンと張った状態に保ち、自由な動きは最大でも 0.6 m に制限します。

各地域の規制によって、異なる措置が義務付けられることがあります。したがって、実際の作業環境に関連する条例等を考慮しなければなりません。

アンカー・ストラップ (1 名用に関する EN 795 B に準拠)



警告

EN 795 B 準拠のアンカー装置を、EN 355 準拠のエネルギー吸収装置なしで落下防止システムで使うことは許可されません。接続するカラビナは、EN 362 に準拠している必要があります。

- (1) EN 795 に従って選んだアンカーの周囲へランヤードを導いてください。
- (2) カラビナをランヤードの両端に接続することで、ループを閉じてください。
- (3) 長さ調節バックルを使って、長さを調整し、安全な動作を確認します。
ここで、調整バックルは、アンカーからの圧力なしで、自由に吊り下がっていなければなりません。カラビナは、取付ポイントとして機能します。
- (4) 落下の危険を回避できるように、正確に作業位置を選択してください。



固定用のアンカーポイントは、EN 795 に従って選択します。保護する人の頭上で、可能な限り垂直に保つ必要があります。鋭い端、峰、つねり等は強度に影響を及ぼす可能性があるため、適切な手段でカバーしなければなりません。

使用後のランヤードの保存

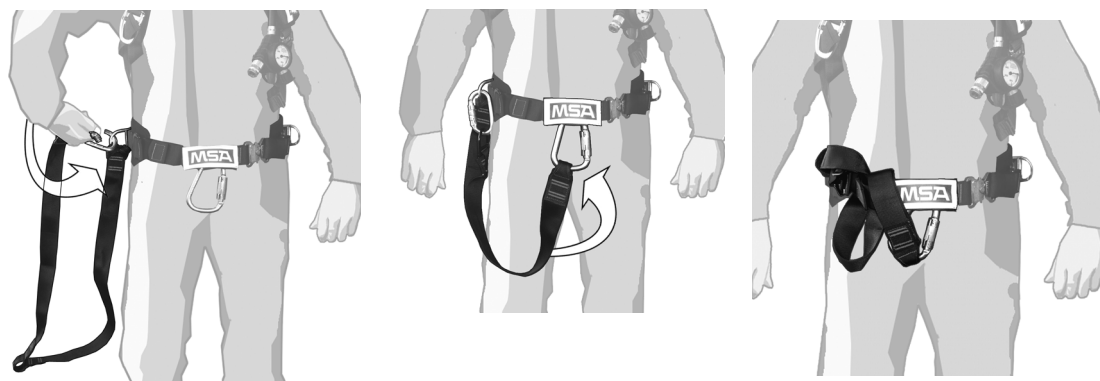


図 9 ランヤードの保存

バックポーチからランヤードを引き出した後は、捕えられるリスクを避けるため、離して保管することを推奨いたします。保存方法の一例は、以下のとおりです：

- (1) 反対側が接続されている D リングに、カラビナを引っかけます。
- (2) カラビナを反対側の D リングに導き、互いを接続します。
- (3) すべての遊離した部品は、ベルトの下に保存してください。

EN 1498:2006 に準拠のレスキュー・ループ

レスキュー・ループ機能は、必ず救出システムと共に使用し、この種の救援活動の訓練を受けた人によってのみ使用しなければなりません。

救出された人がレスキュー・ループの動きによって危険に曝されてはなりません。



警告

特に、クラス A や C のレスキュー・ループによる救出は、吊り下げに関するサスペンション外傷を引き起こしたり、呼吸や血液の循環を損ねたりすることがあります。したがって、これらの種類のレスキュー・ループは、緊急の場合に限って使用することとし、なるべく短時間の使用に限定します。また、レスキュー・ループは、意識を失っている人で使用してはなりません。さらに、クラス C のレスキュー・ループは、頭部を負傷している人で使用してはなりません。レスキューループ・クラス A は、単独下降では使用してはなりません。



警告

なお、救助者はレスキュー・ループのストラップの配置や配属要素との接触によって救出が危険にならないように配慮しなければなりません。たとえば、短い落下などの予想外の事態で、救出される人の頭部にコネクタが衝突するなどがあります。

レスキューループ・クラス A

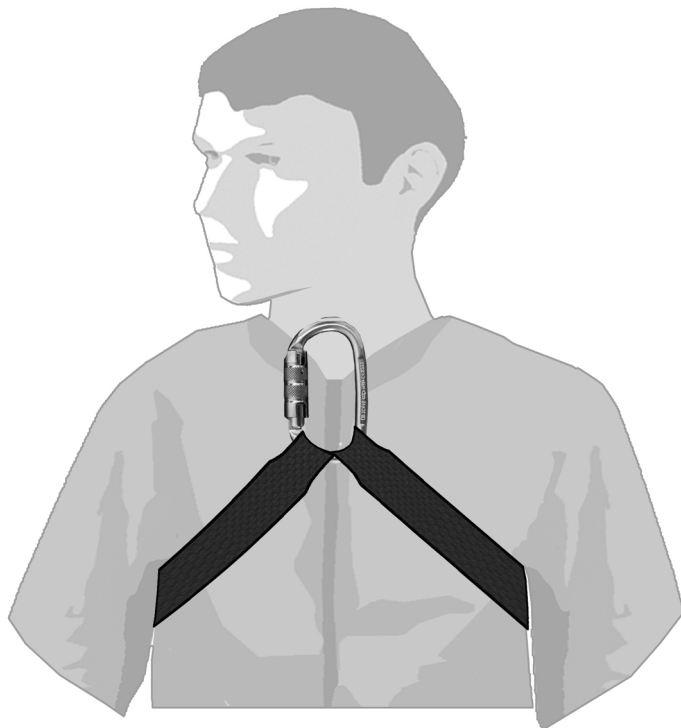


図 10 レスキューループ・クラス A

- (1) ランヤードは軸の下に置き、ランヤードのカラビナは、ランヤードのエンドループとつないでください。
- (2) 結果としてできるレスキュー・ループは可能な限り近くに取り付、身体がねじれて負傷することがないようにしてください。
▷ 調節する際は、長さ調節バックルを使います。
- (3) 救出下降のアンカーポイントとしては、カラビナを胸で使うだけにしてください。

レスキュー・シート / レスキューループ・クラス B – alphaBELT Pro の場合のみ

- (1) 「ベルトシステムの使用の準備」のポイントマニュアルでの説明に従って、ベルトを準備します。
- (2) ランヤードを、索をベルトのバックポーチから完全に引き出し、ウェビンググループでフロントポケットを身体を中心に位置決めします。



救出中は、中央のカラビナを、肩の方向でより高い位置に配置することを推奨いたします。すべてのハーネス・ストラップ、特に肩ベルトは、身体にしっかり引き付けなければなりません。そのため、腰ベルトを緩め、肩ベルトを引っ張りながら、システムを上方へ移動させてから、再度腰ベルトを締めます。



ランヤードにある長さ調節バッククルは、必ず最長となる位置へ調節する必要があります。つまり、バッククルをなるべく D リングに近づけます。その後、ミドルループレスキュー・ループの中央に配置し、三角形構造の両側が同じ長さで、バランスのとれたレスキュー・シートを提供できるようにします。

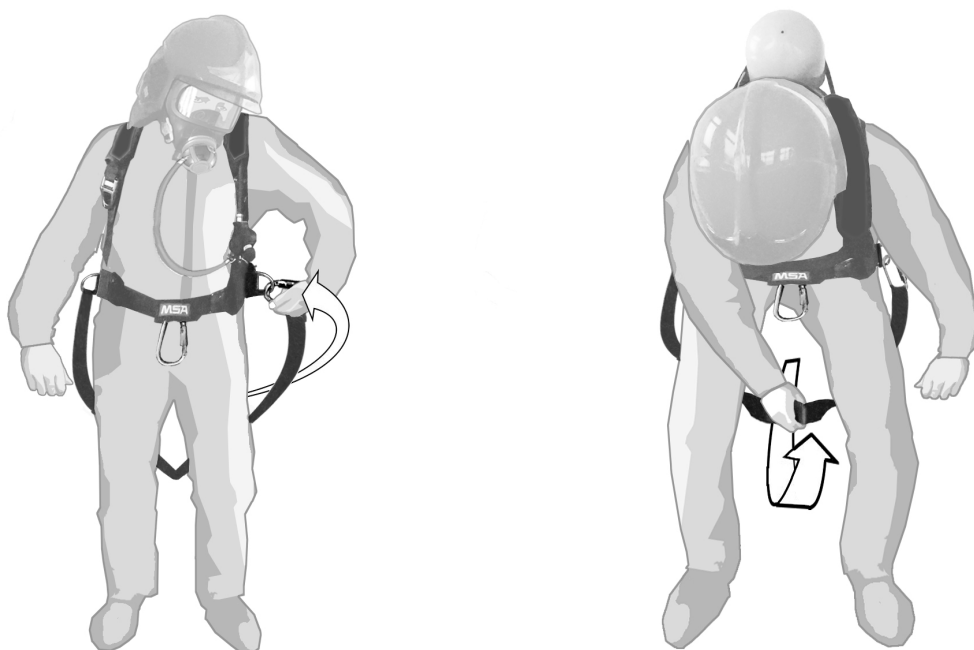


図 11 レスキュー・シート / レスキューループ・クラス B

- (3) EN 362:2004 (例、EN 341 クラス D) に従って、2 番目のカラビナを、ベルトのフロントポーチにあるウェビンググループにつなぎます。
- (4) ランヤードのエンド・ループを、「アルファベルト システムの使用の準備」での説明のように D リングにつなぎます。
 - ▷ ランヤードを脚の後ろを通し、反対側の D リングでカラビナを接続します。
- (5) 脚からフロントサイドまでの間でランヤードのミドルループをつかみ、ランヤードをフロントポーチの上の部分へ引っ張り上げます。



図 12 赤色のステッチループの接続

- (6) 赤色のステッチループを、2 番目のカラビナとつなぎます。このウェビングループは、レスキュー・ループを形成するために、フロント帯ひも環とも接続されます。
- ▷ 負傷を避けるため、ランヤードをひねらないでください。



図 13 レスキュー・シート / レスキューループ・クラス B の使用

- (7) 2 番目のカラビナは、必ず赤色のステッチループのフロントから使用し、救出の下降のアンカーポイントとして使うだけにしてください。

レスキュー・ループ クラス C



図 14 レスキュー・ループ クラス C

クラス C のレスキューループは、救援活動の間に構築されます。救出された人は頭を下げて搬送し、足首の回りをベルトで緊密に包みます。

- (1) ランヤードからのカラビナをランヤードのエンドループにつないで、閉じたレスキュー・ループを作ります。
- (2) ランヤードの長く平らな側が足首の後ろに接触し、カラビナが正面になるように、閉じたループを足首の回りに配置します。
- (3) 足首のまわりを走っているランヤードを、足首の間で上方へ引きます。
- (4) ランヤードを、結果として足の前にできるループを通して、一番下から一番上まで引っ張り、ループをしっかり身体から引き離してください。次に、ループを終わりまで巻いて、両足首を包みます。
- (5) 救出下降のアンカーポイントとしては、このカラビナを使うだけにしてください。

4 保守および洗浄

4.1 定期チェック



危険

alphaBELT Pro または *alphaBELT Basic* が下降や落下によって引っ張られたり、他の影響（たとえば、高温、炎、化学物質、機械的影響、鋭いエッジ、摩滅、カット、紫外線放射）によって損傷を受けたりした場合は、すぐに使用を止めてください。わずかでも疑いがある場合は、本製品の使用を止め、適切な知識を有する人がテストを行った後に書面で承認するまで、再度使用してはなりません。

毎回の使用の前後で、機器を使って、損傷（摩滅、カット、裂けなど）がないかチェックします。製品の識別が、読みやすくなければなりません。

加えて、前述の規格に従って機器を安全に動作させている場合、適切な知識がある人によって少なくとも 12 ヶ月毎に点検し、必要に応じて、交換しなければなりません。したがって、この製品のマニュアルの全ての部分またはメーカーから提供される他の対応する文書を考慮する必要があります。このテストの記録を残されなければなりません（機器の文書については、添付のチェック・シートを参照してください）。

このテストには、以下を含める必要があります：

- 一般的な状態のチェック：経年、完全性、ほこり、正しい構成など。
- ラベルのチェック：ラベルの存在、読みやすさ（CE マーク、製造の日付、シリアル番号、EN 標準、メーカー、製品名）。
- 以下を含め、これらに限らず、個々の部品の機械的損傷：カット、破れ、ノッチ、摩滅、変形、リブの形成、よじれ、つぶれなどのチェック。
- 個々の部品の熱的または化学的損傷（溶解、硬化、変色など）のチェック。
- すべての金属部品の腐食や変形のチェック。
- 最終接続の状態や完全性のチェック：縫い目（縫い目の糸の擦り切れなど）、接合、結び目（滑って離れる、緩みなど）。
- ロックのチェックによる、適切な機能の確認（妥当なロックなど）。
- 可能であれば、フロントポーチの熱インジケータが変色していないかをチェック。

4.2 清掃

ベルトは必ず手で洗ってください：

- (1) 正総では、なまぬるい水（最高で 30 ° C まで）と、MSA テスト済みの中程度の pH の穏やかな中性洗剤を使ってください。メーカー Ecolab からの TURBO USONA を推奨します。
▷ 投与：使用する水の量に対して 1 % の TURBO USONA
- (2) きれいな水（最高で 30 ° C まで）で、すすぎます。
- (3) 乾燥させてから、保管してください。
▷ ハーネスは曝したり、火またはその他の熱源の近くに露出させないでください。



警告

安全性の低下を避けるには、必ず正しい掃除および乾燥の手順を守らなければなりません。

4.3 殺菌

製品の合成素材に一切の影響を与えない物質だけが、殺菌で使用できます。

4.4 メンテナンス

本製品の修理と変更は、メーカーだけが行うことができます。

平均的耐用期間

あまり使用しない場合、平均的耐用期間は最高 10 年に及ぶ場合があります。集中的に使用するとは、かなり期間が短くなります。耐用年数を決定する重要な要因は、製品のテストおよび／または拒絶の定義済みの基準に従ってテストが実行される時の製品の状態だけです。プラスチックまたは織物による製品は、通常、製造日から 10 年後には、使用を停止しなければなりません。

張力を受けて、損傷した製品は、直ちに運用から除外しなければなりません。

例えば以下のような異なる要因に依存するため、一般に、製品の耐用年数について概説することはできません：

- 保存条件
- 紫外線照射
- 使用の強度や頻度
- 手入れ
- 温度、湿度、降雪のような天気の影響。塩、砂、化学製品などによる環境

このリストは、完全ではなく、損傷に対する他の措置を適用することが必要です。

耐用期間は、単一の使用での特異な状況で短くなることもあり、機器は最初に使われる（たとえば輸送の間の損害）前に、使えなくなることさえあります。

5 輸送および保管

製品のストラップは、主にポリエステル（PES）であり、部分的にポリアミド（PA）でできています。したがって、熱による負荷は 100 ° C を決して上回ってはなりません。

5.1 輸送

輸送では、適切な包装（ほこり、湿気、化学製品、UV 放射線、機械的損傷などから保護）を行わなければなりません

5.2 保管

保管条件：

- 乾燥および清掃
- 室温
- 光（UV 放射線、溶接装置など）からの保護
- 化学物質（酸、塩基、液体、蒸気、気体、等）やその他の攻撃的条件から離す
- エッジが尖っている物体からの保護

6 認証

認定

MSA AirGo または AirMaXX の呼吸器に取り付けるベルトシステムは、以下の規格に適合しています：

alphaBELT Basic

EN 137:2007、クラス 2: 消防サービスで使用する圧縮空気呼吸器
ベルトシステムの動作温度：-40 ° C ~ +100 ° C
EN 358:1999 作業の位置決めおよび位置制限ベルト
ATEX II 3G IIB
II 3D

alphaBELT Pro

EN 137:2007、クラス 2: 消防サービスで使用する圧縮空気呼吸器
ベルトシステムの動作温度：-40 ° C ~ +100 ° C
EN 358:1999 作業の位置決めおよび位置制限ベルト
EN 1498:2006、クラス B レスキューループ・クラス B は、以下の組み合わせのみ
alphaBELT Lanyard
ATEX II 3G IIB
II 3D

alphaBELT Lanyard

EN 137:2007、クラス 2: 消防サービスで使用する圧縮空気呼吸器
ベルトシステムの動作温度：-40 ° C ~ +100 ° C
EN 358:1999 作業位置決めおよび位置制限のベルト、および制限ベルトに接続するランヤード
EN 1498:2006、クラス A, C レスキューループ・クラス A および C
EN 795:1996 B (1 名) アンカーストラップ
ATEX II 3G IIB
II 3D



警告

呼吸器をベルトシステムと共に使用する場合、この組み合わせは、呼吸器のバックプレートで指定される承認を受けた認定とはなりません、ATEX 承認 II 3G IIB、II 3D には適合しています。

ATEX

基本装置の許容される動作範囲は、該当する MSA コンポーネントを修正した場合、制限されることがあります。基本装置と異なる動作範囲をもつ、コンポーネントが使われると、最も制限される（限定）コンポーネントの動作範囲が新しい完全な製品にあてはまります。デバイスのオペレータは、こうした変更を文書化する責任を負います。

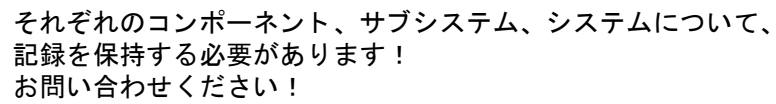
適合宣言書は次のリンクの下にあります：<https://MSAsafety.com/DoC>

7 注文情報

10151246	<i>alphaBELT Pro</i> 、位置決めおよびレスキュー・ベルト
10151241	<i>alphaBELT Basic</i> 、位置決めおよびランヤード（なし）
10151242	<i>alphaBELT Lanyard</i>
10151249	SCBA ベルト用小さいコネクタ・ループ、2x
10151248-SP	SCBA へのアダプター・クイックリリース・バックル、2x
10157585	カラビナ、3600 LB ゲート、トリプルロック

8

装置記録 - 個人保護装置の高所からの落下に関する検査基準表



製品タイプ：	製品名：	シリアル番号：
製造年：	購入日：	初回使用日：

定期点検および修理の履歴

[illegible]

For local MSA contacts, please visit us at ***MSAsafety.com***

*Because every life has a **purpose...***